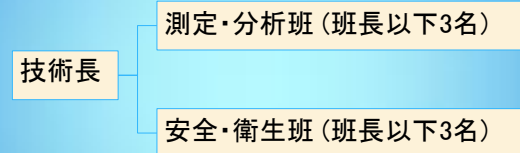


茨城大学工学部技術部

安全管理部門の業務内容について

安全管理部門 ○塩澤 悠太 佐藤 義典
井上 和浩 金澤 浩明 木村 亨
水野 孝泰 神永 尚哉

安全管理部門の組織



計7名

安全管理部門の主な業務内容について

- 薬品登録管理業務
- 空間放射線量測定、放射線微粒子サンプリング業務(安全管理部門+出水)
- 作業環境測定サンプリング、分析業務(全キャンパス、年2回)
- 局所排気装置等定期自主検査業務(全キャンパス、年1回)

作業環境測定及び局所排気業務は
全部門、シニアスタッフに協力依頼

薬品登録管理業務

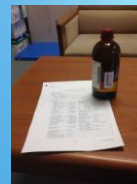


工学部で購入された薬品はすべて技術部で入庫手続きされる(薬品管理システムはIASOを使用)

薬品と一緒にMSDS(製品安全データシート)と入庫情報も使用者へ必要に応じて薬品棚卸の指導、支援

↓
工学部内でのIASOの運用率(点検・棚卸報告書より算定)は80%以上

適正な薬品管理の一助を担っている



放射線測定業務



N7棟前玄関(南向き)

今ここ

放射線量の計測場所

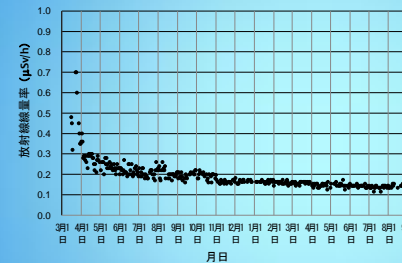
平成23年3月16日～4月9日まで
N3棟北側
平成23年4月8日以降
N5棟屋上北側およびN7棟玄関
前(南側)の2カ所に変更

N5棟屋上北向き(地上からの高さ約14m)
N7棟玄関前(高さ約1m)

⇒サーベイメータ(ALOKA製、
MODEL TCS-171)で測定

測定は現在も継続中

日立キャンパスの空間放射線量



- 放射線量は徐々にではあるが減少傾向
- グラフは大学ホームページに掲載

測定場所：N7棟玄関

放射性微粒子サンプリング業務



ハイボリュームサンプラー(N5棟屋上)

微小な粒子状物質(エアロゾル)として浮遊しているもの
⇒石英繊維フィルターで捕集

ヨウ素の一部などガス状成分
⇒活性炭濾紙で捕集

定期的に回収、交換後分析に提出

作業環境測定のスンプリング及び分析業務



・技術部、機器分析センターの共同業務

・6か月に1回の法令に基づく測定

・作業環境測定士を中心に全学、3キャンパスのサンプリング及び分析業務を担当

局所排気装置等定期自主検査業務



・技術部、機器分析センターとの共同業務

・1年に1回の法令に基づく検査、大学独自の検査も実施

・インストラクターを中心に全学、3キャンパスの自主検査を担当

安全管理部門員のその他の業務

- ・学科支援業務(学生実験、実習など)
 - ・衛生管理者業務(技術部より2名が兼務)
 - ・廃液処理業務
 - ・他部門が中心となる技術部業務(モノづくり体験教室等)
 - ・福島県川俣町での放射性微粒子サンプリング支援業務等のプロジェクトへの参加(ものづくり部門、出水を中心に)
- etc

以上が安全管理部門員7名で行っている業務